

水口東高等学校校舎増改築 機械設備工事

図面リスト

NO	図面名称	縮尺	NO	図面名称	縮尺
0	表紙 図面リスト		22	視聴覚教室 平面詳細図	1/50
1	特記仕様書		23	生物教室	〃
2	附近見取図 配置図 (給水ガス消火栓)	1/600	24	普通教室	〃
3	〃	〃	25	便所廊下洗場	〃
4	配管系統図		26	搬入表 搬出図	1/30
5	1階平面図 (給水排水ガス散佈機物)	1/200	27	柵標準図	
6	〃 (排水)	〃	28	給排水衛生設備保温標準図	
7	2 〃 (給水排水ガス散佈機物)	〃	29	空気調和設備保温標準図	
8	3 〃 (〃)	〃	30	消火栓箱標準図	
9	4 〃 (〃)	〃	31	配置図 附近見取図 (参考図)	1/600
10	屋PH 〃 (〃)	1/200 1/50 1/30	32	1階平面図 (〃)	〃
11	美術教室 平面詳細図	1/50	33	2 〃 (〃)	〃
12	生徒会相談室 業務員室 保健室 図書室 平面詳細図	〃	34	3 〃 (〃)	〃
13	被服教室 平面詳細図	〃	35	4 〃 (〃)	〃
14	調理教室	〃	36	屋PH 〃 (〃)	〃
15	職員室	〃	37	立面図 (〃)	
16	電算室 校長室 事務室 進路指導室 平面詳細図	〃	38	断面図 (〃)	
17	化学教室 平面詳細図	〃	39	炬計図 (特別教室管理棟) (普通教室棟)	
18	地学教室	〃	40	〃	
19	物理教室	〃			
20	礼法大会議室 暗室 平面詳細図	〃			
21	音楽教室 平面詳細図	〃			

滋賀県土木部建築課

滋賀県建築設計監理事業協同組合

水口東高等学校校舎増改築機械設備工事 設計図		NO.	
表紙 図面リスト		校の内	
管理建築士	昭和55年 7月 日		
滋賀県建築設計監理事業協同組合	理事 長	理事 長	理事 長

工 事 の 概 要		種目適用 項 目		特 記 事 項		種目適用 項 目		特 記 事 項		使 用 機 材 指 定
○	工事範囲	○	工事範囲	○	工事範囲	○	工事範囲	○	工事範囲	

工 事 名 稱
工 事 場 所
工 事 期 限

水口葉萬等字校良吉增或榮機放遊工事
甲蘭郡水口町古城丘番1号
昭和56年6月5日迄

該当工事印付寸			
No	工事種目	工種	適用
01	工事設備	機械	

種目	適用	特記事項
①	○	工事範囲 及説明
受		
水	○	貸与、本工事
設	○	(RC) 製 容量 (30.0) M ³ 既設使用
備	○	(FRP) 製 容量 (6.0) M ³ (新設)
用	○	屋外配管 ϕ 150mm 鋼管 100m 既設使用、 ϕ 100mm 鋼管 100m 既設使用、 ϕ 100mm 鋼管 100m 既設使用
機	○	屋内配管 ϕ 100mm 鋼管 100m 既設使用、 ϕ 100mm 鋼管 100m 既設使用
器	○	防電遮断

1 雨水排水設備工事 2 電気設備工事

3 特別教室の実験机への配管接続工事

項目	特記事項
① 受水設備	○ 工事範囲 及説明 本工事は既設高架水槽を新設PHHへ移設し既設パイプを 利用し揚水管を並走し高架水槽へ導入。 貨と、本工事 ○ 量水設備 ○ 受高架水槽 ○ 配管材料 ○ 防露被覆 (RC)製各量(30.0)M³ 既設使用 (FRP)製各量(6.0)M³ (移設) 屋外配管: ポリエチレン鋼管A 耐衝撃硬質ビニル管、ポリエチレン粉体フライング鋼管 屋内配管: ポリエチレン鋼管A、ポリエチレン粉体フライング鋼管A 防露材はグラスウール保溫筒とし、施工は標準図による。
② 給水設備	○ 工事範囲 及説明 本工事は高架水槽より重力式により所定箇所へ給水する 既設給水管への接続も施工のこと。 ○ 給水方式 ○ 配管材料 ○ 防露被覆 ○ 水压試験 直圧式、加圧式、重力式 屋外配管: 硬質ポリエチレン管、ポリエチレン粉体フライング鋼管A 屋内配管: ポリエチレン鋼管A、ポリエチレン粉体フライング鋼管A 防露材はグラスウール保溫筒とし、施工は標準図による。 水压試験を行ない漏水のないようにする。
③ 排水施設	○ 工事範囲 及説明 本工事は汚水箱排水分流通しとし、屋外にて合流し 既設管に接続し既設浄化槽へ導入する。 ○ 排水方式 ○ 配管材料 単独式、合流式 屋内分流通外合流式 屋外配管: 硬質ビニル管(一般管)、耐衝撃チューブ管 屋内配管: 排水用鋅鉛管、排水用鉛管(一般管) 排水用鉛管

一般事項	1. 本工事は建設大臣官房官庁事務部監修機械設備工事共通仕様書及び関係
------	-------------------------------------

項目	適用項目	特記事項
① 受水設備	○ 工事範囲 及説明 ○ 負担金等 量受水機 高架水機 ○ 配管材料 ○ 防露被覆	本工事は既設南梁水機を新設PHへ移設し既設ポンプを利用し揚水管を延長し南梁水機へ導入する。 貨と、本工事 (RC)製容量(30.0)M ³ 既設使用 (FRP)製容量(6.0)M ³ (移設) 屋外配管:ビニルエーテング鋼管A耐腐蝕被覆塩化ビニル管、ポリエチレン粉砕スチレン鋼管A 屋内配管:ビニルエーテング鋼管Aポリエチレン粉砕スチレン鋼管A 防露材はグラスウール保温とし、施工は標準図による。
② 給水設備	○ 工事範囲 及説明 ○ 給水方式 配管材料 ○ 防露被覆 水压試験	本工事は南梁水機より重力式により所要箇所へ給水する 既設給水管への接合も施工のこと。 直圧式、加圧式、重力式 屋外配管:保温用被覆塩化ビニル管、ポリエチレン粉砕スチレン鋼管A 屋内配管:ビニルエーテング鋼管A、ポリエチレン粉砕スチレン鋼管A 防露材はグラスウール保温とし、施工は標準図による。 水压試験を行ない、漏水のないようにする。
③ 排水・通気設備	○ 工事範囲 及説明 ○ 排水方式 配管材料 ○ 防火区画貫通	本工事は汚水・雑排水・分流式とし、屋外にて合流し 既設溝に接続し既設浄化槽へ導入する。 単独式、合流式、屋内外分流、屋外合流式 屋外配管:硬質ビニル管(一般管)、銅管、スチール管 屋内配管:排水用镀锌管、硬質ビニル管(一般管)、排水用鉛管 二層管 (HAGS規)
④ 衛生器具設備	○ 工事範囲 及説明	衛生陶器、耐腐金属及び給排水金具等の取り付けを行う。
⑤ ガス設備	○ 工事範囲 及説明 ○ 負担金等 ガス計量器 ○ 配管材料 ○ 点火試験	本工事はガスメータ迄、水口・協同ガスの責任施工とし、 メータ以降は本工事に伴う施工(所轄箇所)に供え合する。 負担なし 屋外配管:配管用炭素鋼管、ポリエチレン被覆鋼管 屋内配管:配管用炭素鋼管 屋内部配管:ポリエチレン被覆鋼管 気密試験後、火気試験を行い、焼燥の確認、機器調整を行う。

防火区画箇通個所においては建築基準法により1時間耐火構造となる。

口至100%のVPP層は0.5%以上の鉄板にて保護し口至125mm以上は不燃材料とする。前記規定を打合せの上種工のこと。

換気

警備	VISTAは全てアルミ製とする
----	-----------------

使用機材指定

13 工事範圍及說明

本工に使用する機器材料は下記と同様の規格と建築鉄所定の様式により承認を得て使用のこと。						
通	機	材	名	製	造	所
○	○	○	ビルフライング鋼管 硬質塩化ビニル管 ポリエチレン被覆鋼管 水道用亜鉛めっき鋼管 配管用炭素鋼管	積水化学 日本鋼管	三菱樹脂 任友金庫	任友金庫 新田鉄工
○	○	○	鉛銅ハネムーム鉢 鋳鉄排水口 衛生陶器類 消火栓 シャワー装置 ガスコンロ 浄水器 送風機 扇形	芳沢鋳鋼 任友金庫	ニチエン 苗河電工	大岡鍛冶 北沢バルブ 奥田鍛冶 岸本産業
○	○	○	金物類 木口板 生火架 消火ポンプ シャワー装置 ガスコンロ 浄水器 送風機 扇形	秀根産バブ 大阪ドレナージ 東興機油 立成機製作所	大和バルブ 長谷川鋳工 伊奈製作所 横井製作所	北沢バルブ 奥田鍛冶 岸本産業
○	○	○	間接照明 ガスコンロ 浄水器 送風機 扇形	大阪ガス 大阪ガス	パロマ 藤井合金	マツイ機油
○	○	○	シャワー装置 ガスコンロ 浄水器 送風機 扇形	松丁精工	三菱電機	花原製作所

図示位置にルームサーモ及びヒュードイスタットを取付け室内の温度湿度を調整する。

[illegible]

② ハルブ類は、名称、行先、開閉等の取扱を取付けのこと。

③ 地中埋設の銅管は、防蝕テープ巻きとする。

④ 屋外埋設配管に於いて埋設支障があった場合に事前に深掘の相対通知工と

(15) 本工事は学校使用中工事のため学校関係者と充分打ち合せの上のこと。
又安全にも充分留意し万工行い従来の機能を低下させることなく安全に施工のこと。

本工事に使用する機器材料は下記又は同等の規格出た建築課所定の様式により承認を得て使用のこと。					
適用	機 材 名	製 造	所 名		
○	ビルディング鋼管	積水化学	三菱樹脂	住友金属	川崎製鉄
○	硬質塩化ビニル管	〃		久保田鉄工	

川		例	
記 号	名 称	記 号	名 称
— — — —	給 水 管	— S —	蒸 氣 往 管

記 号	名 称	記 号	名 称
— — — —	給 水 管	— S —	蒸 汽 往 管

2 設備内材の取付位置 同様と銘	No. 1 40 枚の内 昭和53年 7 月 日	大崎高等学校増設築構設備工事図 機械設備工事特記仕様書 縮尺 縮尺 課長 長谷川 俊彦 係長 製 図
此所建築設計事務所 所長 木村 祐治 技士 佐々木 謙二 高木 誠一	滋賀県土木部 課長 佐々木 謙二	大崎高等学校増設築構設備工事図 機械設備工事特記仕様書 縮尺 縮尺 課長 長谷川 俊彦 係長 製 図

該当するものについて適用欄に○印を付す

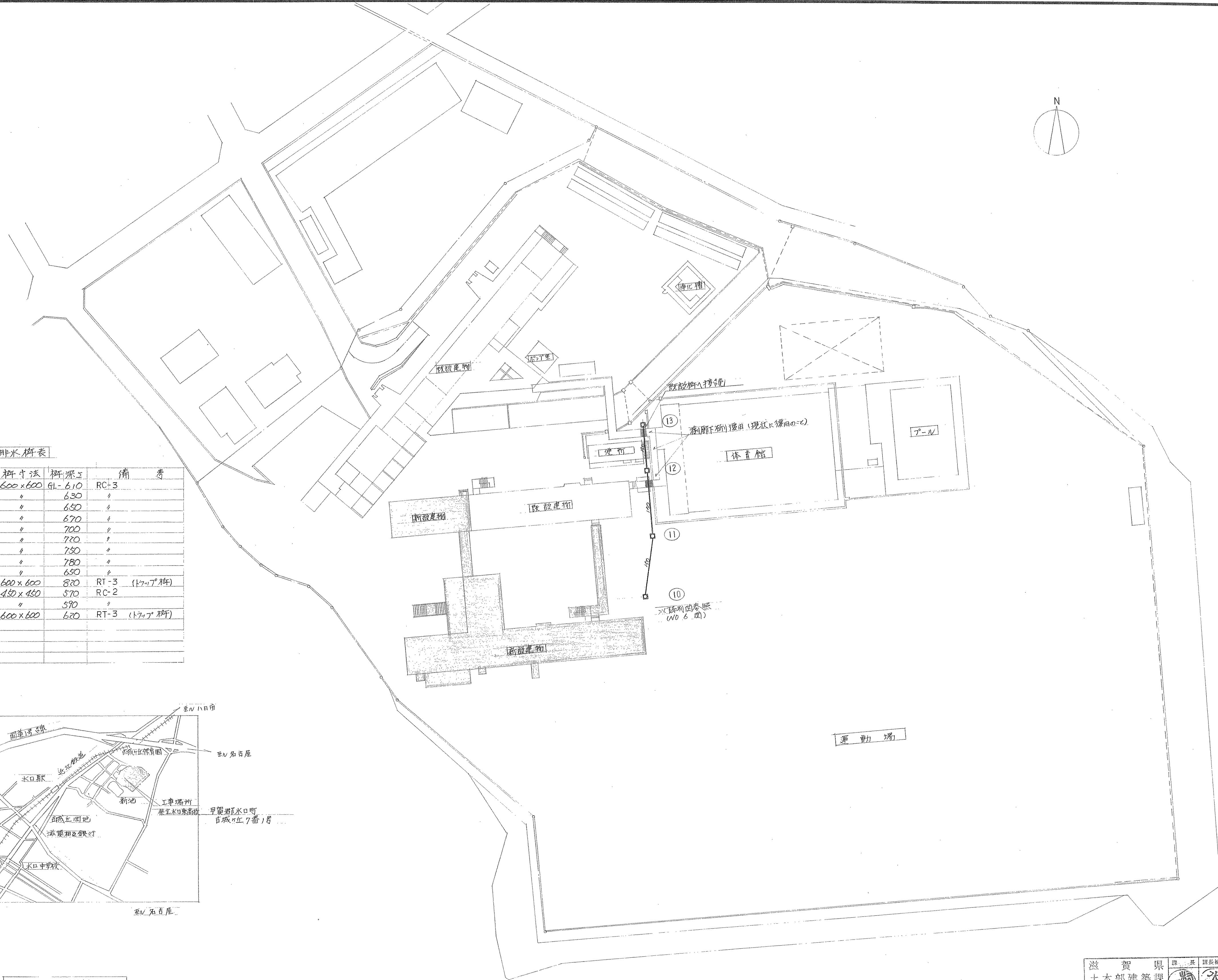


コンクリート部破り箇所を示す

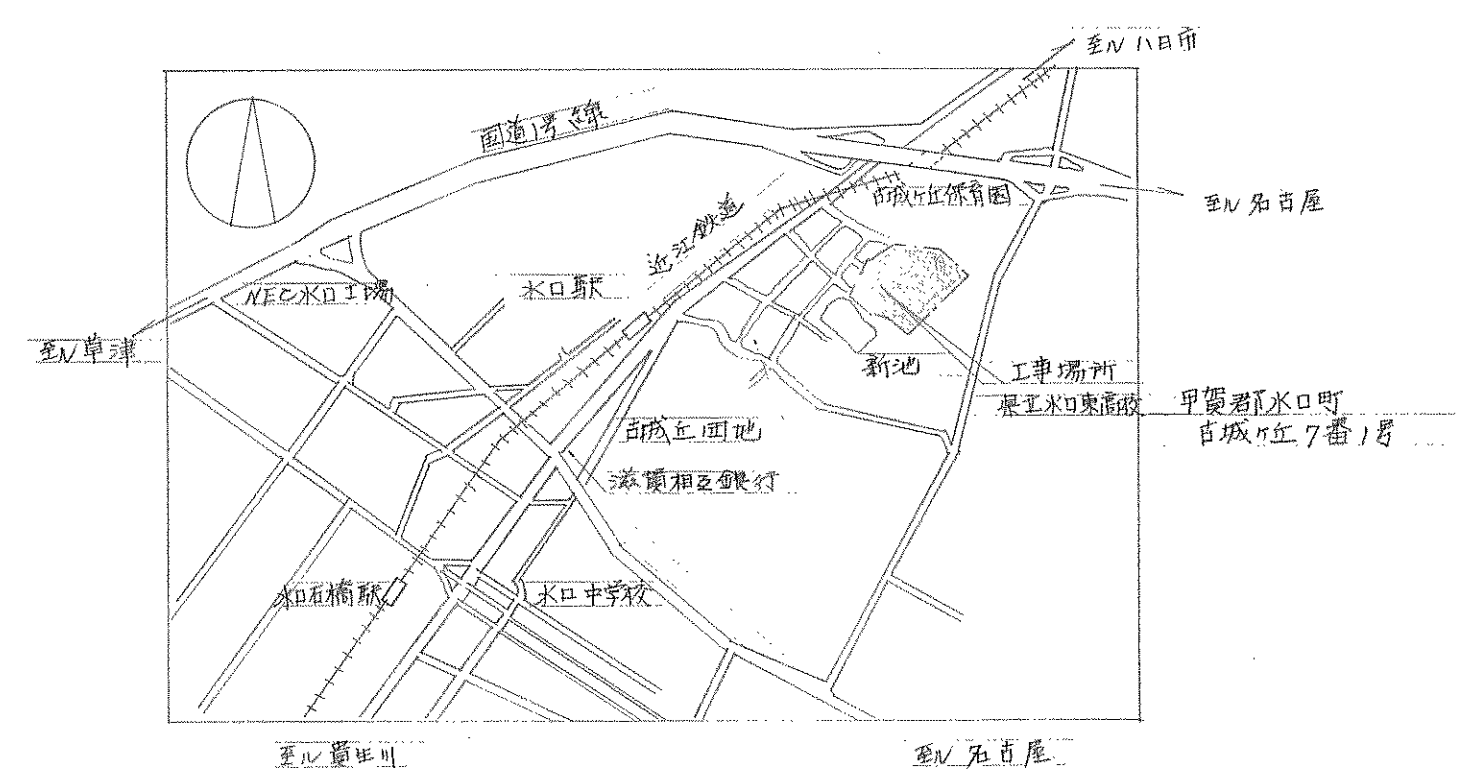
滋賀県	課長	課長補佐	技術補佐	係長	監査
土木部建築課					
昭和55年7月	日				

水口東高等学校校舎増改築機械設備工事 設計図 NO.2

附近見取図	配置図	SCALE 1/600	40 枚の
(給水・ガス・排水) 新設			
管理建築士		昭和55年7月	
弥生建築設計事務所 所長木村裕治		担当	
株式会社総合設備研究所		理事	
滋賀県建築設計監理事業協同組合		理事兼事務局長	



污水格栅表				粗排水格栅表			
NO	栅寸及	栅深	備 考	NO	栅寸及	栅深	備 考
1	600 × 600	610	SC-3	A	600 × 600	610	RC-3
2	〃	645	〃	B	〃	630	〃
3	〃	650	〃	C	〃	650	〃
4	〃	670	〃	D	〃	670	〃
5	〃	680	〃	E	〃	700	〃
6	〃	730	〃	F	〃	770	〃
7	〃	770	〃	G	〃	780	〃
8	〃	780	〃	H	〃	780	〃
9	〃	810	〃	I	〃	650	〃
10	〃	840	〃	J	600 × 600	870	RT-3 (170° 栅)
11	〃	900	〃	K	450 × 450	570	RC-2
12	600 × 600	960	SC-3	L	〃	570	〃
13	600 × 900 ⁺	1,000	既設槽 改造行 ₂	M	600 × 600	680	RT-3 (170° 栅)



附近見取図

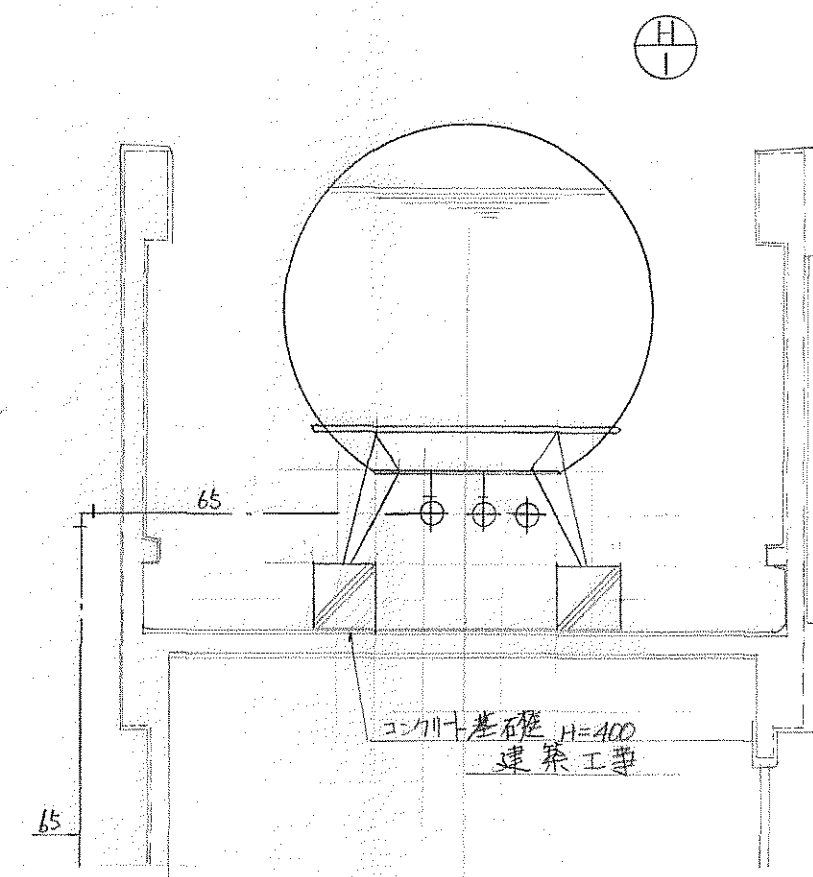
配置図 1/600

コンクリート部破損箇所を示す

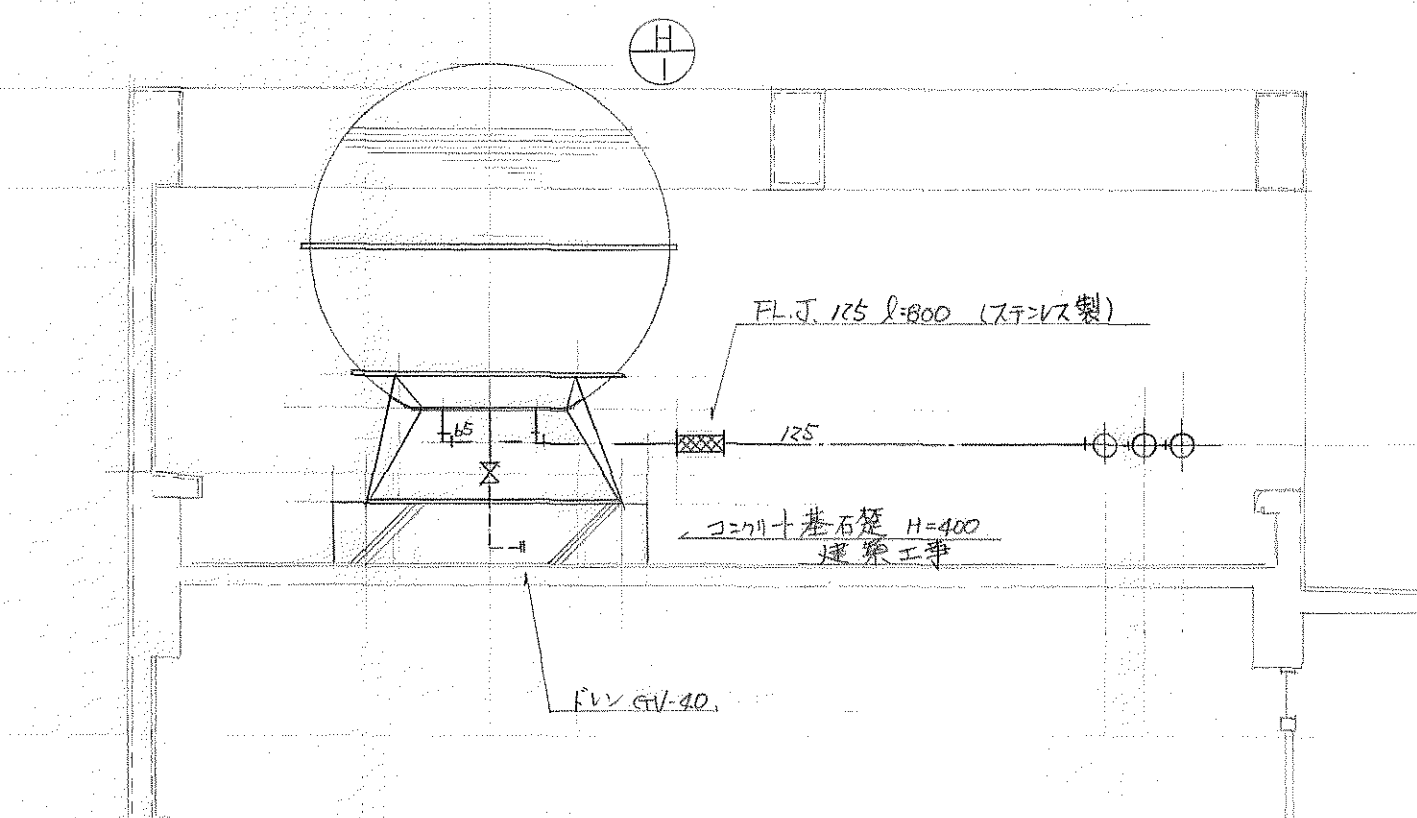
滋賀県 土木部建築課	課長 長峯 隆	課長補佐 技術主任 佐藤 隆	係長 齋藤 重	
昭和55年7月 日				
水口東高等学校校舎増設機械設備工事 設計図				NO. 3
配置図 (抄本)		SCALE 1/600	40 枚の内	
附近見取図				
管理建築士		昭和55年7月 日		
弥生建築設計事務所 所長 木村 祐治		担当		
株式会社総合設備研究所		参考		
滋賀県建築設計監理事業協同組合		管理建築士		



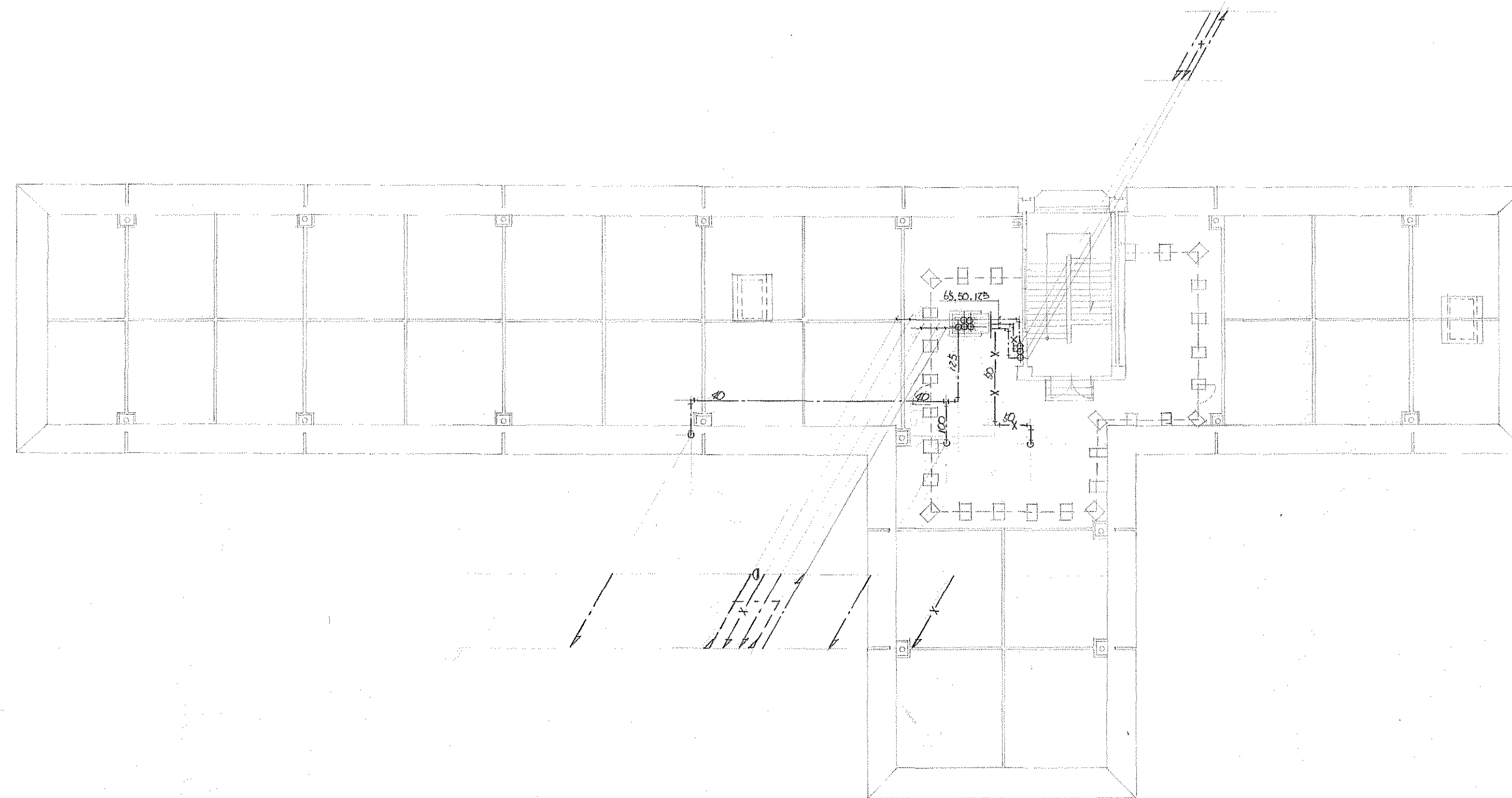
配管系統図



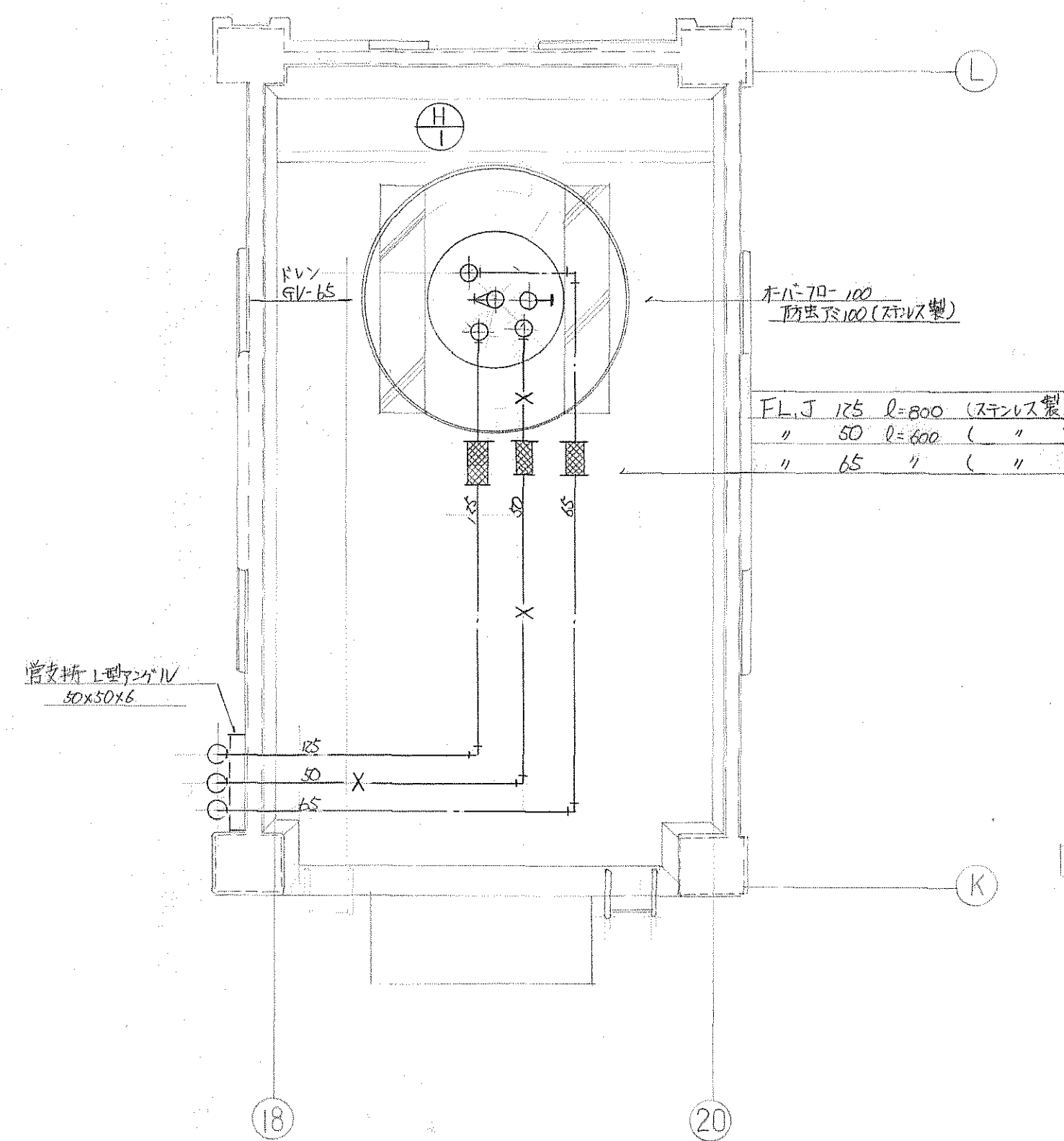
PH 正面詳細図 1/50



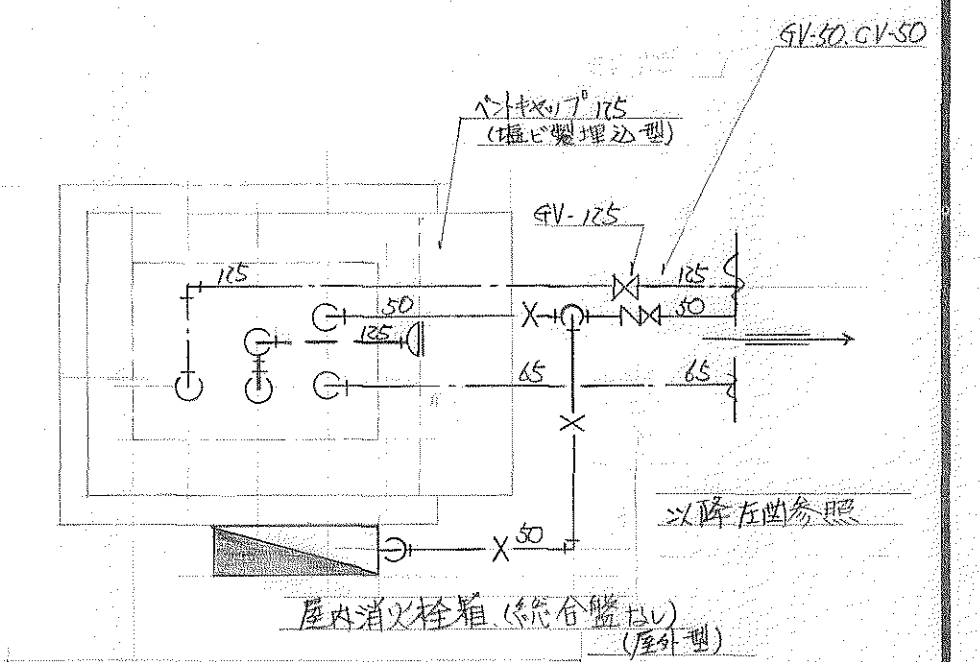
PH 側面詳細図 1/50



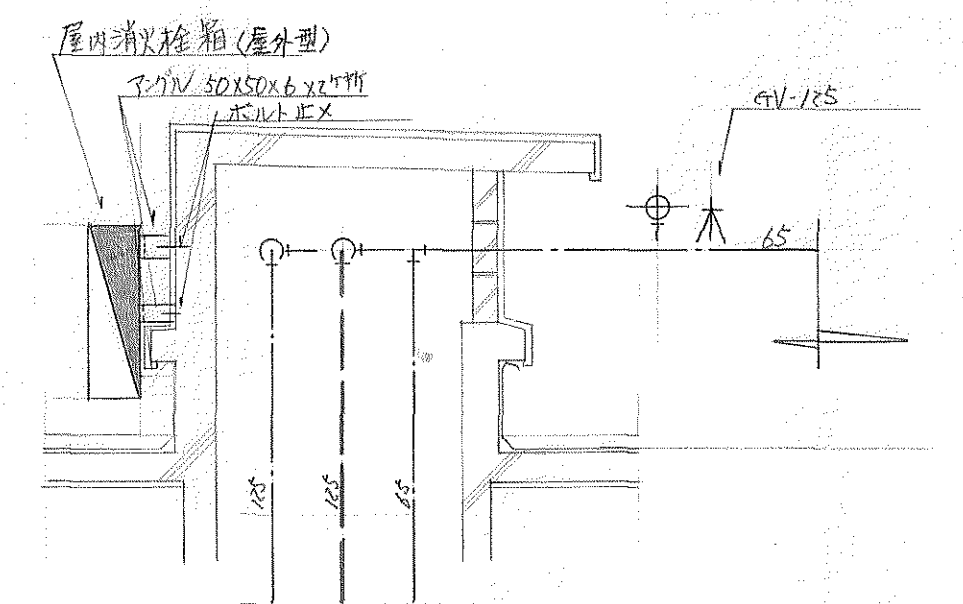
屋 階平面図 1/200



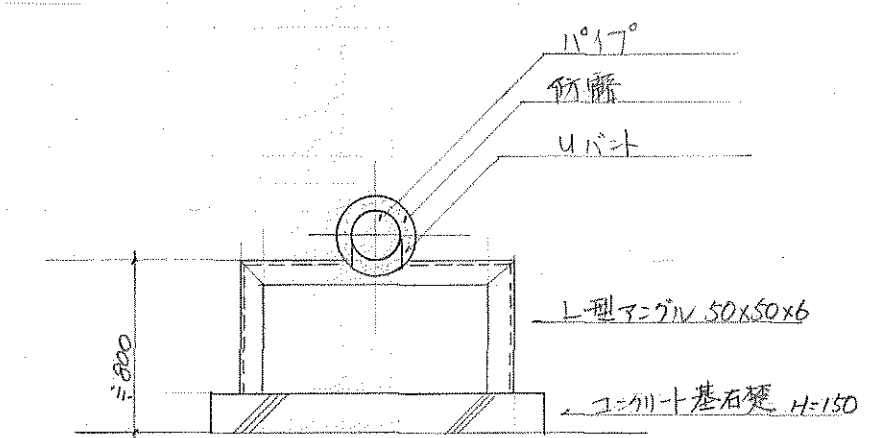
PH 平面詳細図 1/50



PS 平面詳細図 1/30



PS 断面詳細図 1/30



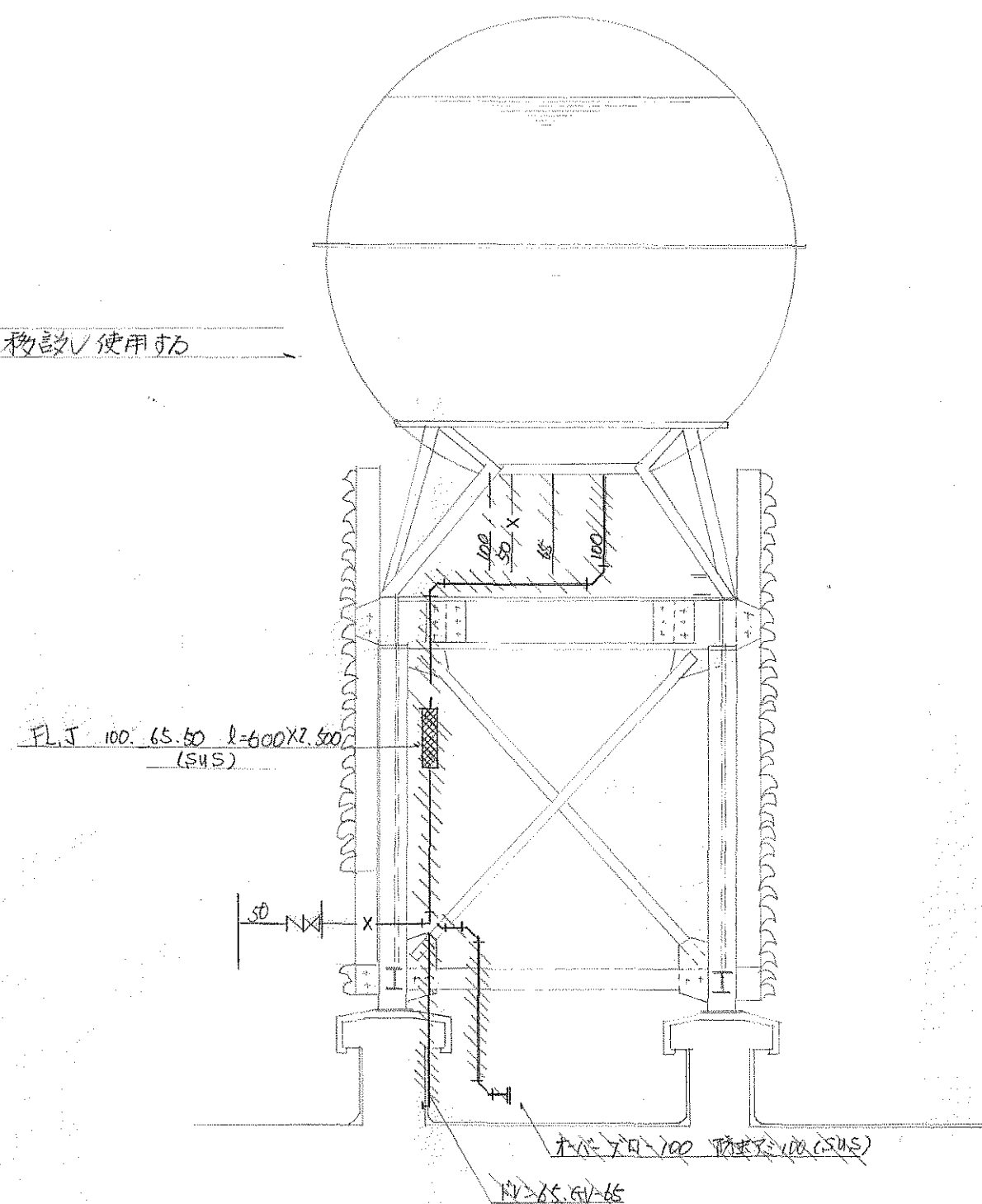
管支持台参考図

※高架水槽(600)防設品殺設使用
各箇取排水口は、既設排水口を利用

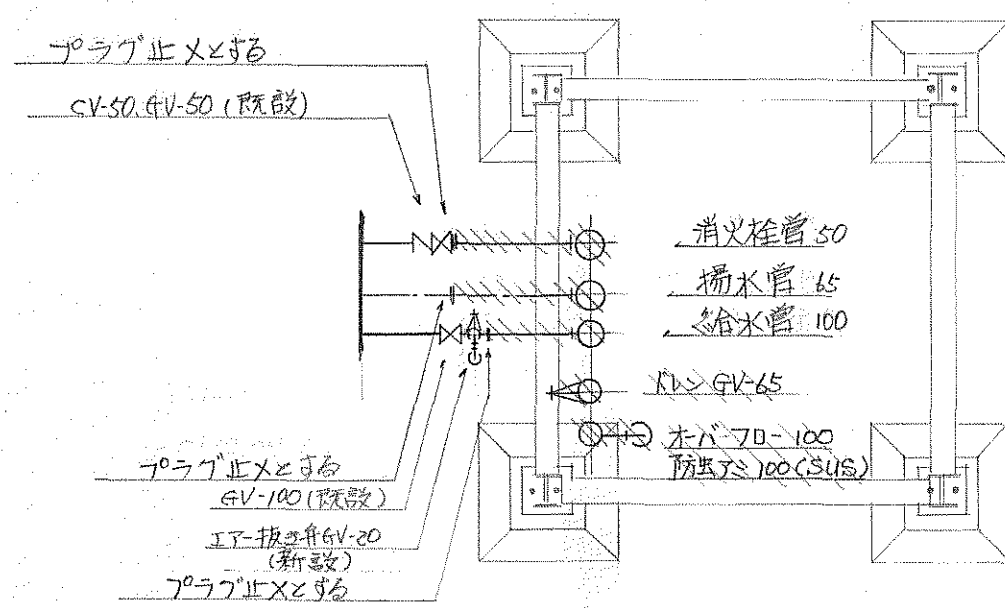
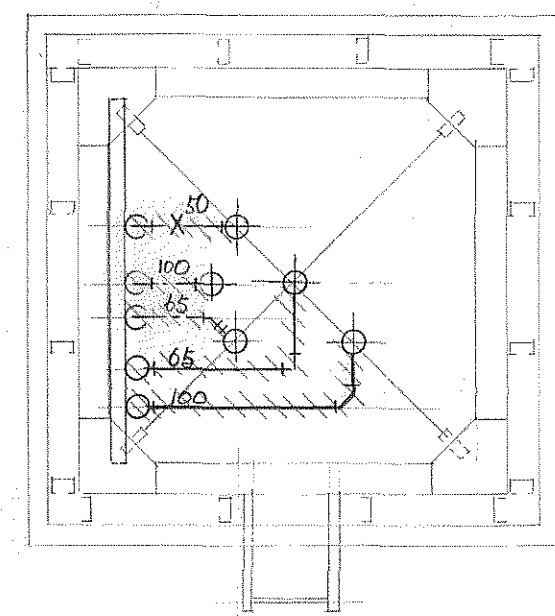
※立管サイズは既設排水口に依る

滋賀県	土木部建築課	課長	課長補佐	技術補佐	係長	監査
昭和55年7月						
水口東高等学校校舎増改築機械設備工事 設計図 NO. 40						
屋 PH 階平面図		SCALE 1/200		40 枚の内		
詳細図 (給排水消火)		1/501/30		昭和55年7月		
管理建築士		昭 55 年 7 月 日				
弥生建築設計事務所 所長 木村 裕治		株式会社 総合設備研究所				
滋賀県建築設計監理事業協同組合						

高架水槽 6.0m³ 移設/使用妨



既設高架水槽断面図 1/30



既設高架水槽廻り平面図 1/30

撤去工事表示
飲料水自は建築工事に伴って撤去行つ。撤去については保費と充分協議し交障はよう施工のこと。

既設高架水槽廻り撤去図

機器表

NO	名称	仕様	備考	数量
	揚水ポンプ	65φ x 250mm ³ /min x 28m x 3.7kW 5φ200 (既設ポンプ室に設置)	既設品使用	2
	消火栓ポンプ	80φ x 600mm ³ /min x 60m x 11kW 5φ200 消防規格品 ()	〃	1
(P1)	ステンレス水中ポンプ	50φ x 30mm ³ /min x 7.4m x 1.2kW 250W. ホキド-7116mm ² に鉛板、フロートスイッチ	高架水槽内	1
(B1)	給湯用ボイラー	貯湯式 181ℓ LPG消費量 1.61kg/h 1270W 19300kcal/h 圧電点火式 加熱面積 0.57m ² 附属品 バフラー・トップ・セーフ 安全弁 参考寸法 518φ x 1660mm x 高さ 1300 (SUS)	調理教室	1
(H1)	高架水槽	FRP製球型 6.0m ³ 単板製(底部サドル構造)	既設品移設使用	1
(F1)	換気扇	300φ 960mm ³ /h 電気式スイッチ (排気用) 1φ100V 39W		45
(F2)	〃	300φ 972mm ³ /h 電動式スイッチ (排気用) 1φ100V 35W		7
(F3)	〃	250φ 930mm ³ /h 電気式スイッチ (排気用) 1φ100V 36W		5
(F4)	〃	250φ 390mm ³ /h (暗室用換気扇) 1φ100V 39W	美術暗室	1
(F5)	天井埋込扇	40mm ³ /min x 4mm ³ /h 1φ100V 288W ペタキスツ(7Nミ製) 200φ変	礼法室	1
(F6)	〃	10mm ³ /min x 4mm ³ /h 1φ100V 21W ペタキスツ(7Nミ製) 100φ変	日音室	1
(F7)	ミニシロッコファン	570mm ³ /h x 7mm ³ /h x 1φ100V x 170W 低騒音型	音楽室	2
(F8)	〃	250mm ³ /h x 7mm ³ /h x 1φ100V x 85W	レッスン室 視聴覚準備室	2
(F9)	〃	900mm ³ /h x 7mm ³ /h x 1φ100V x 170W	視聴覚教室	2
(F10)	ケミカルファン	240mm ³ /h x 10mm ³ /h x 1φ100V x 200W ペタキスツ(15塩ミ製) 150φ	化学薬品庫	1
(F11)	ファンユニット	5.4mm ³ /min x 6mm ³ /h x 1φ100V x 69W	放送室	1

滋賀県	土木部建築課	課長	課長補佐	技師補佐	技師	監査
昭和55年7月	日					
水口東高等学校校舎増改築機械設備工事 設計図 NO. 26						
機器表						SCALE
概略図						40枚の内
管理建築士						昭和55年7月 日
設計者 滋賀建築設計事務所 所長 木村祐治						
株式会社 滋賀建設研究所						
滋賀県建築設計監理事業協同組合						